

活動の場所

富山県黒部市
(森林、水辺)



活動目的

YKKの創業社長である吉田忠雄が理想とした「森の中の工場」を創業100周年となる2034年には実現するよう、黒部の原風景の再現を目指して森と水辺の創出に取り組んでいます。

活動内容

YKK株式会社では「善の巡環（他人の利益を図らずして自らの繁栄はない）」をYKK精神としています。この精神は、企業は社会の構成員で共存してこそ存続でき、その利点を分かち合うことにより繁栄できるという考えからです。YKKの工場がある黒部川扇状地の自然が失われつつある中、緑地の創出により地域にも貢献したいという思いのもと、森や水辺の創出の取組みを開始しました。

<森づくりの過程>

2006年

黒部に原生する樹木の種子を用いた苗作りを開始



2008～2012年

従業員や地域の皆様の計約1,350人の協力により20種20,000本を植樹



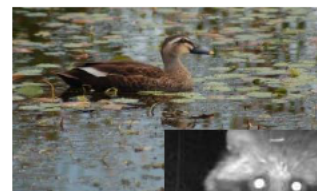
2009年

YKKセンターパークとして産業展示館とともに一般公開を開始



現在

様々な生物が生息する森に成長し環境教育や調査研究の場として活用



PRしたいポイント

地方創生：産業観光の拠点の他、企業や学生の視察等、県内外より多くの方に来場いただいています。
希少種保全：森や水辺の生物調査を4年毎に実施している他、県内のトンボの調査地として活用しています。
環境教育：地域の科学館と共同で、森を活用した子供たち向けの環境教育活動を実施しています。
CO₂吸収源：2020年よりソフトバンク社と共同で、緑地のCO₂吸収量見える化に取り組んでいます。

活動効果、今後の展開 等

- YKKセンターパークには、公開開始から累計約36万人が来場されました（2022年3月末現在）。
- 森や水辺では、希少種26種を含む300種以上（2019年現在）の生物の存在が確認されています。トンボの専門家による調査結果は、富山県内のトンボのレッドリスト作成の元となる論文に報告されています。
- 工場跡地を活用し、緑地の拡張を2024年に向けて計画しています。